

令和2年度 第2回鹿児島市環境審議会 会議概要

【日 時】

令和2年10月28日（水） 14時00分～16時20分

【場 所】

市役所本館2階 講堂

【出席委員】

有山委員、伊荻委員、江口委員、長船委員、小山委員、諏訪委員、徳留委員、富安委員、西委員、西園委員、二宮委員、丸山委員、三原委員、宮本委員、森田委員

【会 次 第】

- 1 開会
- 2 報告 鹿児島市域の2017（平成29）年度CO₂排出量
- 3 議題 現行計画の総括及び次期計画骨子原案の方向性について
 - ① 環境基本計画 ② 地球温暖化対策アクションプラン
 - ③ 再生可能エネルギー導入促進行動計画 ④ 一般廃棄物処理基本計画
 - ⑤ 生物多様性地域戦略
- 4 その他
- 5 閉会

【議事概要】

<3 ① 環境基本計画>

委 員：市内連携は非常に大事である。自転車道の整備を謳う一方で、整備のために街路樹の伐採が生じる。街路樹はCO₂の吸収源として、また、日陰としての役割があるので、調整が必要なものになる。課題や相乗効果を洗い出して位置付けていただけるとありがたい。

事務局：都市計画や交通政策など、様々な分野が環境の視点を取り入れてくれていると感じている。課題は市内で連携、配慮しながら横断的に進めていきたい。

<3 ② 地球温暖化対策アクションプラン>

委 員：いろいろな技術で将来のあるべき姿を示しているが、2050年の市の人口や高齢者率、空き家率など様々な状況を踏まえて積み上げないとゼロカーボンは達成できないと思う。予測を交えた計画を立ててはどうか。また、温泉の活用など、鹿児島らしい提案があっても良いと思う。

事務局：様々なことがCO₂排出に関わってくるので、2050年の状況を踏まえて計画を策定することは大事だと考えている。推計し、裏付けを取りながら、幅広く材料を集めて考えていきたい。

<3 ③ 再生可能エネルギー導入促進行動計画>

委 員：ゼロカーボン実現のために、再生可能エネルギーについて市民はどういう取組みをすればよいのか。

事務局：現在の取組みとしては、家庭で太陽光発電を設置し、発電した再エネ電力を使うというのが大半だが、今後は小売電気事業者に再エネ電力の供給メニューを販売してもらい、市民がそれを選択するという再エネ電力の購入もできるよう検討する。

< 3 ④ 一般廃棄物処理基本計画 >

委員：次期計画骨子原案の方向性に「プラスチックの資源循環」があるが、今後、プラスチック製品もプラスチック容器類として回収するのか。

事務局：プラスチック製品の資源化となると、施設改修なども必要になってくる。国で、改修の補助制度も検討されているようなので、国の動向を注視していきたい。

< 3 ⑤ 生物多様性地域戦略 >

委員：ヒアリやデング熱など、温暖化の影響により日本でも見られるようになってきており、鹿児島市でも雨水がたまらないような対策など、2050年を見据えた対策を考えないといけない。

事務局：2050年も見据え、生物多様性を自分ごととしてとらえていただくために、どのような取組をしていけばいいかも含め、分かりやすい広報・周知が必要と考えている。